令和　　年　　月　　日

日本学術会議

　　会長　光石　衛　殿

（学術研究団体名）

（代表者名）

令和９年度共同主催国際会議申請書

　下記の国際会議が日本で開催されることが決定しましたので、貴会議が同国際会議を（学術研究団体名）と共同して開催されるよう申請します。

記

令和９年度に共同主催を希望する国際会議の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 会議の名称 | 和文：  英文： |
| 開催時期 |  |
| 開催場所 |  |
| 主催団体 | 日本学術会議（希望） |
| 後援等団体 | ※多い場合は主要なもののみ記載。 |
| 母体団体 | 和文：  英文： |
| 参加予定者数等 | 国外 　人 国内 　人 計 　人［ 　 ヵ国・地域］ |
| 会議使用言語 |  |
| 会議概要  （会議の意義・目的や日本開催の経緯等について簡潔に記載。） |  |
| 開催経費の財源  ［募 金 団 体］ | 参 加 費 　　　 千円  助 成 金 　　 千円  寄 付 金 　 千円  その他　　　 　 千円  計 千円 |
| 連絡先  （氏名・所属・肩書・住所・電話番号等） | 氏名:　　　　　　　（所属・肩書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  住所:  電話番号:  E-mail: |
| 提出資料  （申請時に作成が可能な資料がある場合は、チェックして下さい。様式任意。） | 会議内容（会議の構成、主要プログラム、展示・一般向けプログラムの有無等を記載）  日程表（表形式にし、午前・午後、夜の別に内容を記載）  会議プロシーディングス（印刷及び配布方法を明記）  　　著名な国外・国内参加者（氏名、所属、受賞歴等）  　　組織委員会の構成等（発足年月日、学術研究団体との関係等）  　　会議の主題となる学問分野及び近年の研究成果に関する資料  　　会議の収支予算書  　　その他の資料（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

※現時点で未定の場合は、未定である旨記載してください。

※提出資料欄でチェックした資料については、審査の過程で提出をお願いする場合があります。

令和　７年　●月　●日

日本学術会議

　　会長　光石　衛　殿

○○法人日本○○学会

会長　　○○　○○

令和９年度共同主催国際会議申請書

　下記の国際会議が日本で開催されることが決定しましたので、貴会議が同国際会議を○○法人日本○○学会と共同して開催されるよう申請します。

記

令和９年度に共同主催を希望する国際会議の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 会議の名称 | 和文： 第■回国際○○○学会議  英文： THE Xth International Conference ○○○ (略称：IC○) |
| 開催時期 | 令和××年××月××日（日） ～××月××日 （月）（×日間） |
| 開催場所 | ○○県○○市（国立○○会館、○○○○○ホテル）  ※オンライン開催の有無も記載 |
| 主催団体 | ○○法人日本○○学会、日本学術会議（希望） |
| 後援等団体 | （協賛）日本○○機構（予定）　等  （後援）○○省、○○県、○○市、△△学会、□□研究所　等  ※多い場合は主要なもののみ記載。 |
| 母体団体 | 和文：国際○○○学会  英文：International Society of ○○○(略称：IS○) |
| 参加予定者数等 | 国外 ○人 国内 ○人 計 ○人［ ○ ヵ国・地域］ |
| 会議使用言語 | 英語（同時通訳：有　開会式のみ） |
| 会議概要  （会議の意義・目的や日本開催の経緯等について簡潔に記載。） | 第■回国際○○○学会議は、国際○○○学会が▲年ごとに開催する国際会議であり、19××年の第1回から当会議で■回を迎える、○○○学分野で最も歴史のある国際会議である。  本会議の日本開催は●年の●会議で決定し、日本での開催は、第◆回以来、○年振り、○回目の開催となる。  ○○○学は、□□の基礎要素である△△の中核を成し、○○の少数多体系である○○を研究する学問である。近年は、高温・高密度状態の○○物質や○○における○○合成過程の研究が著しい発展を遂げている。  ○○○学は、･･････における日本の研究水準を高め、世界における･･････に対して多大な貢献をしており、今後の･･････について大きく期待されている。  この度の第■回国際○○○学会議では、「21世紀における･･････の新潮流」をメインテーマに、○○を越える○○、○○の○○力学、○○構造、○○中での○○の性質の応用等を主要題目として、研究発表と討論が行われることとなっている。  この会議を日本で開催することは、我が国で･･････中の○○を全世界の研究者に大きくアピールし、多くの研究者の参画を促す絶好の機会となり、我が国の○○○学に関する研究を一層発展させる契機となる。  また本会議に参加する若手研究者への支援として・・・・の制度を設けるとともに、発展途上国からの参加者に対する支援としては、・・・・がある。  　市民公開講座は○月○日（〇）に「・・・・の未来と展望」というテーマで開催する予定である。○○の研究が身近な生活の中でどのような効果を発揮しているか、今後どのように発展し未来に役立てていくか等を分かりやすく説明する。 |
| 開催経費の財源  ［募 金 団 体］ | 参 加 費 21,800 千円  助 成 金 3,500 千円  寄 付 金 　600 千円  その他　　　 　1,200 千円  計 27,100 千円  （財）日本○○財団 |
| 連絡先  （氏名・所属・肩書・住所・電話番号等） | 氏名:○○　○○（所属・肩書　○○大学大学院◇◇学研究科◆◆◆専攻 教授）  住所:〒113-○○○○　東京都○○区□□1－5－45  電話番号:03－◇◇◇◇－●●●●  E-mail:aaaa.aaaaaa@aaa.go.jp |
| 提出資料  （申請時に作成が可能な資料がある場合は、チェックして下さい。様式任意。） | 会議内容（会議の構成、主要プログラム、展示・一般向けプログラムの有無等を記載）  日程表（表形式にし、午前・午後、夜の別に内容を記載）  会議プロシーディングス（印刷及び配布方法を明記）  　　著名な国外・国内参加者（氏名、所属、受賞歴等）  　　組織委員会の構成等（発足年月日、学術研究団体との関係等）  　　会議の主題となる学問分野及び近年の研究成果に関する資料  　　会議の収支予算書  　　その他の資料（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

※現時点で未定の場合は、未定である旨記載してください。

※提出資料欄でチェックした資料については、審査の過程で提出をお願いする場合があります。

※記載上の注意点※

・フォント、文字サイズについては様式から変更することのないようにお願いします（MS明朝、12ｐ）

・数字　：１桁＝全角、２桁以上＝半角、４桁以上（年数を除く）＝要すれば３桁毎に「,（半角カンマ）」

・日本文の句点は「、」を使用（「，」は使用しない）

・記号（（　）カッコ、「　」鍵カッコ。％等）　：全角

・単位を統一（例：人数は○人ではなく、○名）